

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	脱炭素論
担当教員名	小林光・村山顕人
単位数(コマ数)	1単位 (8コマ)
講義曜日・時限	水曜日 6限
講義目的	2022年春にIPCC第6次評価報告書の気候変動の適応・緩和に関わる部分が公表され、日本でも2050年カーボンニュートラルの取り組みが本格化している。今後、まちづくりとしてどのようにカーボンニュートラルや脱炭素化に取り組むべきか、技術、政策、制度、計画、デザインといった視点から議論する。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートとする。 ・各担当教員がA4版3ページ程度で回答できる課題を出し、全ての課題に答えてもらう。ただし、全体として8ページ以内とする。 ・最終回はレポートの課題に対応したディスカッションを行う。事前にレポートの骨子を考えてもらう。 ・レポートの提出期限は1月末を予定。ディスカッションをも踏まえた内容に期待する。

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	11月29日	6限	小林光	ハイブリッド	全体の進め方、地球温暖化メカニズムと対策技術、再エネ供給と省エネを掛け算に
2	11月29日	7限	小林光	ハイブリッド	都市の細胞たる家や企業における脱炭素化
3	12月6日	6限	小林光	ハイブリッド	脱炭素政策の国内外の進化の歴史と国際ルールの意義、日本の政策の欠点
4	12月13日			ハイブリッド	都市経営基礎第2(都市の公共政策と法制度)
5	12月20日	6限	大野輝之	ハイブリッド	東京都の環境政策
6	1月10日	6限	村山顕人	ハイブリッド	都市計画・まちづくり分野の気候変動対策(緩和策・適応策)
7	1月17日	6限	村山顕人	ハイブリッド	脱炭素まちづくりの事例(大規模開発型・漸進的更新型)
8	1月24日	6限	村山顕人・西村愛	ハイブリッド	地区の持続性評価、エコカルティエ、エコディストリクト
9	1月31日	6限	小林光・村山顕人	ハイブリッド	学生も交えたディスカッション
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					